

平成24年度  
実施事業

事務事業名	図書館ネットワークサービス広域化事業
-------	--------------------

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる
施策	1	市民の主体的な学習の推進
小分類	2	生涯学習環境の充実
主要な施策	3	③図書館機能の充実
事務事業番号	014	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	図書館
-----	-----	-------	-----

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	近隣市との図書館相互利用を可能にすることにより、市民が図書館を利用しやすい環境を整えることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	定住自立圏の連携事業であり、登別・室蘭・伊達の3市の図書館情報システムや図書資料等を一体で運用・利用することにより、図書館の広域利用を図るものである。 従前、室蘭・伊達の2市で行っていた本事業に平成24年1月より当市も参加した。 【事業実績】 ①室蘭・伊達に配送した登別の図書冊数 19,625冊 ②登別に配送した室蘭・伊達の図書冊数 14,640冊
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	8	2,402	2,521	2,521	2,521
事業費 合計			8	2,402	2,521	2,521	2,521

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 室蘭・伊達に配送した登別の図書 (H23は1~3月分)	冊	目標値	5,700	20,000	20,000	20,000	14,000
			実績値	4,565	19,625			
	② 登別に配送した室蘭・伊達の図書 (H23は1~3月分)	冊	目標値	3,000	14,000	14,000	14,000	14,000
			実績値	2,835	14,640			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
登別市民が室蘭市及び伊達市の図書館の図書を利用したい場合、両市の利用者カードを作成のうえ直接出向いて利用するか、当市図書館を経由する相互貸借を活用する必要があった。	登別市、室蘭市及び伊達市の3市で図書館情報システムを共同利用することにより、利用者は1枚のカードにより他市の図書館も利用することが可能となり、図書の予約・貸出・返却等を近くの図書館で行えるなど利便性が向上するほか、図書の広域利用と効率的な図書館運営が期待できる。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	各市の市立図書館を結ぶ事業である。
	<input type="checkbox"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
	<input type="checkbox"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
	<input type="checkbox"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している		
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	3市の市民が各図書館を相互利用できるようになり利便性が向上する。
	<input type="checkbox"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い		
	<input type="checkbox"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
	<input checked="" type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い		
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	各市単独で図書館情報システムを構築・運用するのではなく、3市共同利用することで、コストダウンを図ることが可能である。
	<input type="checkbox"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
	<input type="checkbox"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
	<input type="checkbox"/> ④ 将来的に効率性を向上できる		
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/> ① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	平成24年1月より開始した事業であり、成果の把握には今後の推移をみる必要がある。
	<input type="checkbox"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる		
	<input type="checkbox"/> ③ 目に見える形で成果があがっている		
	<input checked="" type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である		

①担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	平成24年1月より開始した事業であり、今後の利用状況等の推移を注視していきたい。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)